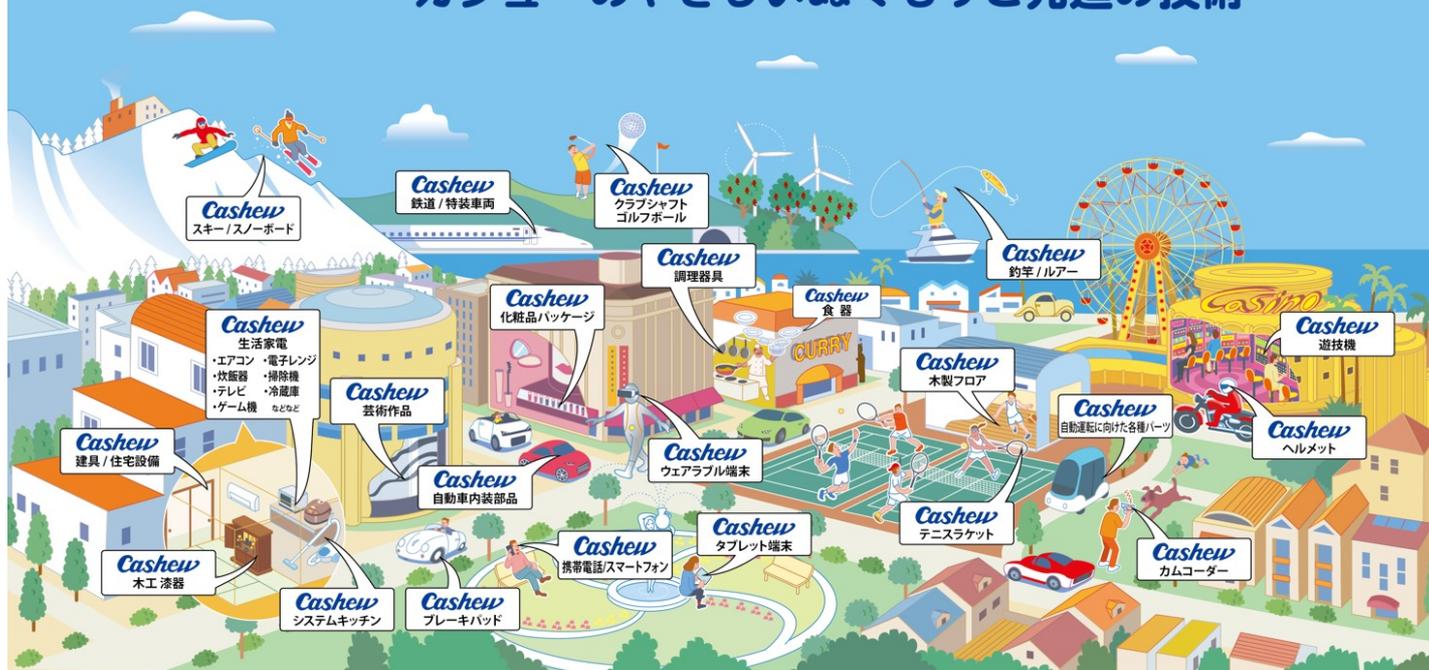


# CSR報告書 2022

ひとの暮らしの中に広がる  
カシューのやさしいぬくもりと先進の技術



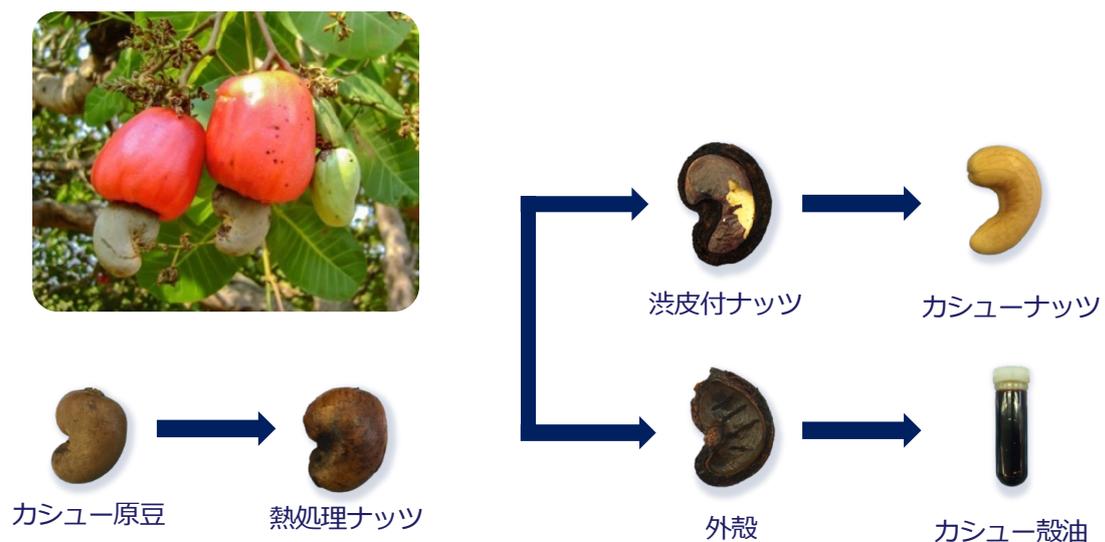
## Cashewのはじまりは、ひと粒の実との出会いから



カシューナッツから、植物性フェノール化合物を抽出し、従来にはない漆系塗料と摩擦材を誕生させたことに端を発しています。

この新しい発見が第一歩となり、現在ではデジタル機器、家電機器、自動車、住宅など幅広いマーケットから高い評価をいただく化学会社へと成長してきました。私たちのモノづくりに対する姿勢は、常にこの“新しい発見”の精神が基本。どのようなお客様が、どのような製品に、どのような機能性や意匠性を求めているのか？ 新たな機能性や意匠性を見つけるために試行錯誤を繰り返し製品開発を進めています。

## カシュー殻油、ナッツの製造工程



## 会社概要

本社所在地	埼玉県さいたま市北区吉野町一丁目407番地1
電話番号	048-653-1115
工場	大宮・久喜
事業所	東京・大阪
営業所	名古屋・広島テクニカルセンター
創業	1948年11月24日
事業目的	塗料及び合成樹脂の製造・販売
資本金	14,500万円
売上高	57.5億円（2023年3月）
従業員数	173名（2023年3月）
関連会社	カシュー通商株式会社

## 海外提携先

香港	Cashew Manfield Holding Limited	JV
	Cashew Manfield (Hong Kong) Innovative Materials Limited	JV
中国	Cashew Manfield (Wuxi) Innovative Materials Limited	JV
	Cashew Manfield (Guangzhou) Innovative Materials Limited	JV
	Cashew - UVCHEM Advanced Materials Technology (Shaoxing) Co., Ltd.	JV
	昆益樹脂材料科技有限公司	JV
タイ	Cashew Marketing (Thailand) Co., Ltd.	JV
	Cashew(Thailand) Co., Ltd.	Subsidiary
シンガポール	Cashew Asia Pte. Ltd.	Subsidiary
マレーシア	Tohei Paint (M) SDN BHD	License partner
インドネシア	PT INKOTE INDONESIA	License partner
台湾	Kuen Bong Chemical Industry Corp.	JV
	Cashew Manfield (Taiwan) Innovative Materials Limited Branch	JV
	CKH Trading Co., Ltd.	Sales partner
アメリカ	Cashew Americas LLC	JV

## カシューのCSRの取組み

私たちは、環境保護を重視してステークホルダーの期待に応える高性能・高品質な製品の開発を行います。活動においては、法令・社会規範、コンプライアンスを遵守し人権が尊重され、企業活動そのものが社会貢献となることを目指します。

### 行動方針



#### 安全・品質

お客様に満足を提供するために高品質な完成度の高い信頼のける製品・サービスを提供し、全社をあげて継続的な改善に取り組みます。



#### 人権・労働

従業員一人一人がその能力を発揮し、生き生きと働ける職場環境を目指し、従業員の安全・健康・雇用維持に取り組みます。



#### 環境

私たちは、環境負荷を低減し持続的社会的の実現に寄与する活動を推進していきます。



#### コンプライアンス

私たちは健全な企業市民になるため、法令・社会規範・企業倫理・社内規範を遵守します。



#### 情報開示

私たちはステークホルダーから信頼されるため、事業内容情報を適切に開示します。



#### リスクマネジメント

いかなる時もお客様への製品供給を止めることなく、社会的責任を果たします。



#### 社会貢献

地域社会の重要性を認識し、地域社会と共生することで社会の発展に貢献します。



#### 取引先

私たちのCSR活動がすべての取引先に理解され、共に発展出来るよう取り組みます。

## 沿革

- 1948年 「日本漆塗料株式会社」創設
- 1953年 社名を「カシュー株式会社」に変更
- 1963年 大宮工場第一期工事完成
- 1977年 久喜工場第一期工事完成
- 1984年 業務拡張により本社を尾久から大宮に移転  
日暮里に営業本部開設
- 2000年 ISO9001取得
- 2004年 CMW Coatings (Gangzhou) ) Limited.設立  
Kuentec Cashew Co.,Ltd設立
- 2005年 CMW Coatings (Wuxi) Limited.設立
- 2006年 ISO14001取得
- 2011年 Cashew (Thailand) Co.,Ltd.設立
- 2012年 広島テクニカルセンターを開設
- 2013年 China R&D CenterをCMW(Wuxi) 内に設立
- 2017年 アメリカ現地法人 Cashew Americas LLC設立
- 2021年 Cashew - UVCHEM Advanced Materials Technology (Shaoxing) Co.,Ltd.設立



1966年頃 尾久工場



1968年頃 大宮工場



現在大宮工場全景

## Cashewは、進化し続ける市場の最前線に しっかりと立ち続けます。



自動車部品



車輛・特装



漆器・木工・住宅設備



スポーツ・レジャー用品

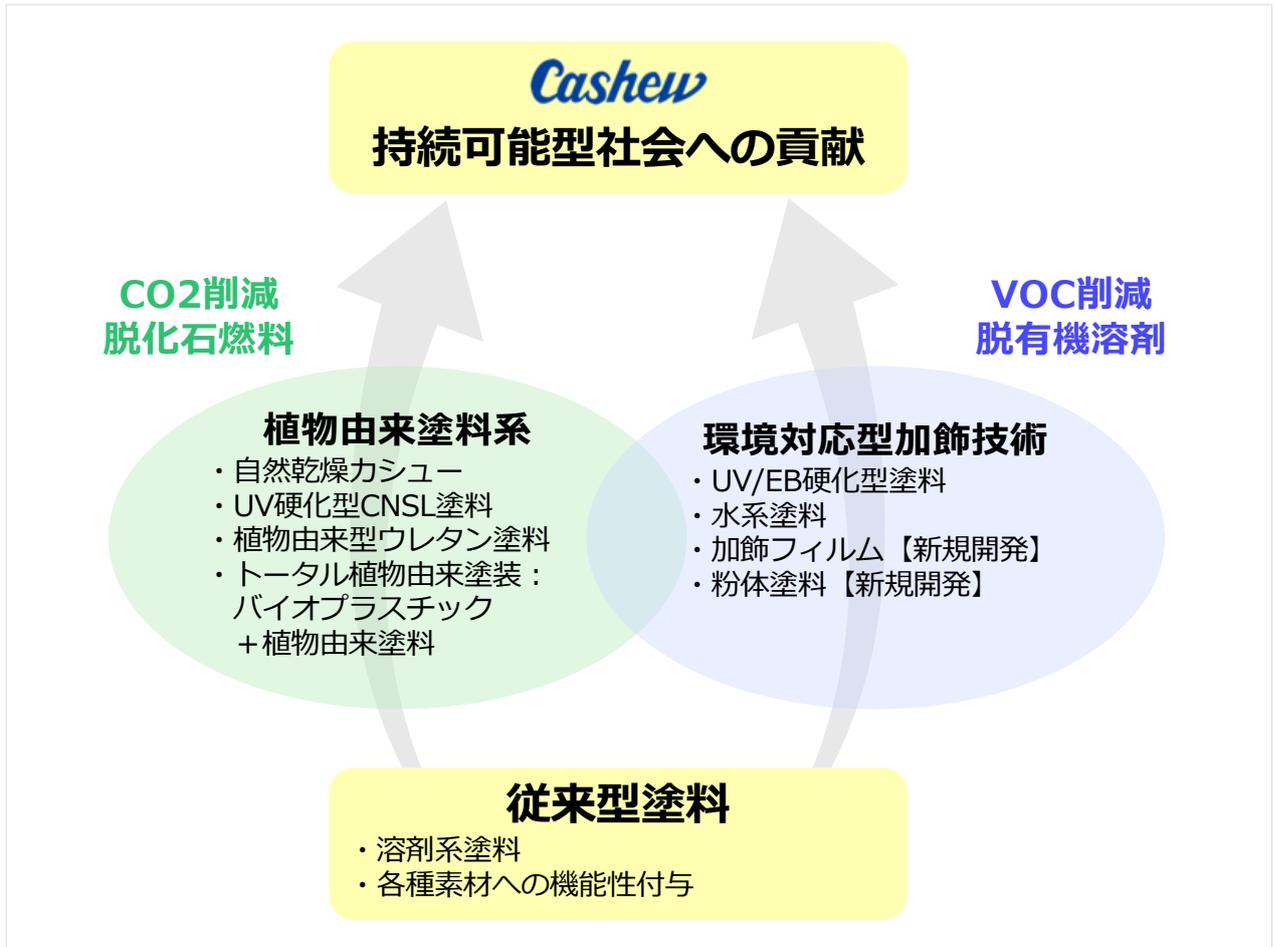


家電



スマートフォン

- お客様（顧客・消費者）ニーズに応える製品・サービスを提供しています。
- ・ 当社の起源である『自然乾燥カシュー塗料』は植物由来の塗料です。
- ・ 当社は持続可能な社会へ向け、CO2削減・VOC削減をキーワードに環境対応型製品の開発に取り組んでいます。



環境対応型新製品

水系2液ウレタン

BIOベース溶剤系2液ウレタン

低温短時間硬化塗料 LTシリーズ  
(1液、2液、焼付け)

水系UVハードコート

BIOベース溶剤系UVハードコート

- ・ 当社では品質に関する基本方針を定めています。また品質マネジメントシステムの国際規格（ISO9001）を認証取得し、魅力ある商品・サービス提供のため品質方針を定め品質管理に取り組んでいます。

## 76期品質方針

カシュ株式会社は、一人一人が誠実に、そして熱意をもって業務を遂行し、お客様が満足する品質の製品とサービスを提供します。

### 1. 品質保証

法令・社内ルールを遵守し、お客様や社会から求められる品質に応え、継続改善に努めます。

### 2. 製品とサービス

1つ先のお客様も意識したニーズに応える新製品・新サービスを能動的に提案・提供します。

### 3. 品質管理

全ての工程において、徹底した管理を主体的に行い、異常の未然防止に取り組みます。

### 4. 教育・啓発

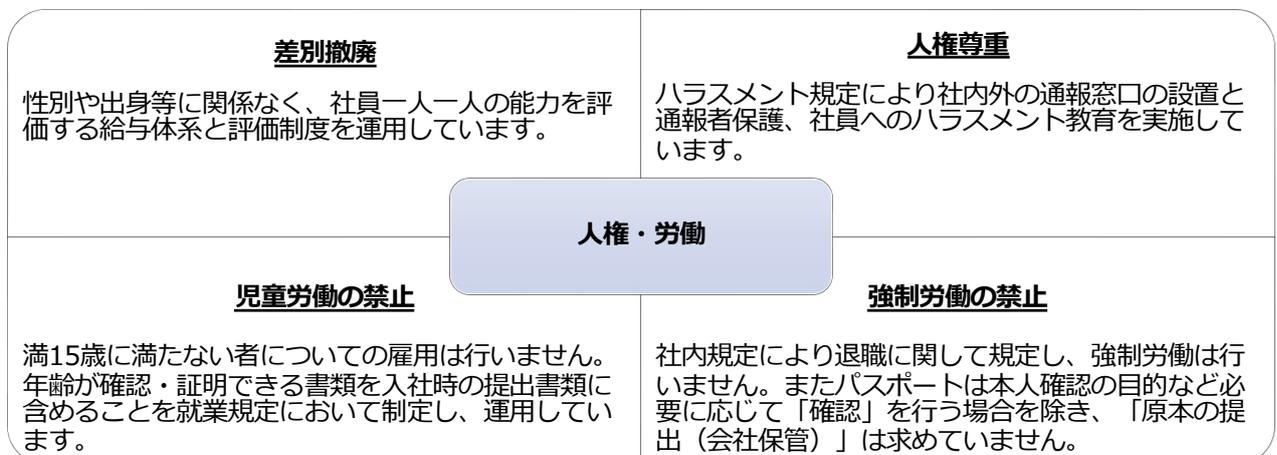
一人一人が品質異常ゼロにするための意識を高めるために全社員に啓発的教育活動を行います。



ISO : 9001登録証

### ■差別撤廃、人権尊重、児童労働の禁止、強制労働の禁止

- ・ 当社は、人種、皮膚の色、性別、年齢、国籍若しくは出身国、家族状況、障がい、健康状態、配偶者の有無、妊娠、言語、性的指向、性自認、宗教、労働組合への加入、政治的見解など事由を問わず、差別のない職場の実現に取り組みます。



安全・品質

■製品に関する適切な情報の提供

- お客様への製品説明、推奨塗装条件などの情報を提供いたします。

**カシューハード G No. 6110 クリヤー**

※カシューハード G No.6110 クリヤーは、アクリルウレタン樹脂系であり、硬化後は有機溶剤に溶解しない樹脂系硬化剤となります。

■製品説明

項目	内容
用途	自動車用塗料
色	透明
粘度	約 100 (25℃)
乾燥時間	約 10分 (25℃)
硬化温度	約 60℃ (25℃)
硬化剤	カシューハード G No. 6110

■取り扱い

■保管方法

■廃棄方法

**携帯電話向け塗料工程 標準塗装作業仕様書**

2023年11月17日 (Rev.001) 印刷機内蔵

■概要

■工程

1. 下塗り: 下塗り塗料を塗布する。乾燥時間: 約 10分 (25℃)

2. 中塗り: シンナーを塗布する。乾燥時間: 約 10分 (25℃)

3. 上塗り: カシューハード G No.6110 クリヤーを塗布する。乾燥時間: 約 10分 (25℃)

■注意事項

1. 塗料を塗布する際は、必ずマスクを着用してください。

2. 塗料を塗布する際は、必ず換気を行ってください。

3. 塗料を塗布する際は、必ず手袋を着用してください。

**品質管理**

1. 原料: 品質管理部門が原料の品質を確認する。品質管理部門が原料の品質を確認する。

2. 工程: 品質管理部門が工程の品質を確認する。品質管理部門が工程の品質を確認する。

3. 出荷: 品質管理部門が出荷の品質を確認する。品質管理部門が出荷の品質を確認する。

■品質管理

1. 品質管理部門が原料の品質を確認する。品質管理部門が原料の品質を確認する。

2. 品質管理部門が工程の品質を確認する。品質管理部門が工程の品質を確認する。

3. 品質管理部門が出荷の品質を確認する。品質管理部門が出荷の品質を確認する。

**Cashew CABEY COMPANY LIMITED**

「カシューUV」の貯蔵と取り扱いについて

■貯蔵

1. 直射日光や熱を避け、乾燥した場所で貯蔵してください。

2. 貯蔵温度: 5℃以上25℃以下。

3. 貯蔵期間: 開封後は1ヶ月以内で消費してください。

■取り扱い

1. 作業時はマスクや換気装置を着用してください。

2. 作業後は手洗いを必ず行ってください。

3. 作業後は換気扇を回して換気をよくしてください。

4. 作業後は換気扇を回して換気をよくしてください。

5. 作業後は換気扇を回して換気をよくしてください。

6. 作業後は換気扇を回して換気をよくしてください。

■製品の安全確保（設計の段階での安全性）

- SDSや各種証明書等で、製品の安全を確保いたします。使用する原材料は、紛争鉱物調達取り組み方針等の調達方針に基づいて調達いたします。

**紛争鉱物調達取組方針**

カシュー株式会社はコンゴ民主共和国およびその周辺国における武装勢力の人権侵害、環境破壊等を重大な問題ととらえています。この武装勢力は紛争鉱物取引を資金源にしているとみられることから、これら問題の助長とならないよう、当社はこれら紛争鉱物を使用しない方針であり、サプライチェーンの透明性を図ると共に、責任ある鉱物調達の推進に取組んでまいります。

紛争鉱物とは上記諸国において採掘される金、錫、タンタル、タングステン、その他（米国国務省が資金源と判断する鉱物）を指します。

カシュー株式会社

**Cashew 安全データシート**

2023年11月17日

製品番号: 1102-150-2000

1. 製品概要

2. 危険有害性

3. 成分

4. 物理・化学的性質

5. 燃焼・爆発

6. 反応性

7. 安定性

8. 毒性

9. 環境への影響

10. 廃棄物の処理

11. 輸送

12. 規制

**TRONE B液 ストン**

ポリウレタン樹脂塗料

11

NET 15 kg LOT 200914 第1石油類 危険等級II

危険

業務用 使用上の注意

1. 使用前に必ず安全データシートを参照してください。

2. 作業時は必ず換気を行ってください。

3. 作業後は必ず手洗いを行ってください。

4. 作業後は必ず換気扇を回して換気をよくしてください。

5. 作業後は必ず換気扇を回して換気をよくしてください。

6. 作業後は必ず換気扇を回して換気をよくしてください。

7. 作業後は必ず換気扇を回して換気をよくしてください。

8. 作業後は必ず換気扇を回して換気をよくしてください。

9. 作業後は必ず換気扇を回して換気をよくしてください。

10. 作業後は必ず換気扇を回して換気をよくしてください。

**Cashew CABEY COMPANY LIMITED**

2023年11月30日

カシュー株式会社 品質保証書

化学物質規制法第8条

詳細: 表紙に記載の標準の段、お読みいただけます。標準の段に記載の標準、お読みいただけます。お問い合わせの取扱いに関する詳細については、お読みいただけます。

(1) 対象製品

(2) 対象対象物質

(3) 対象物質

対象製品は対象対象物質を標準的に使用していません。

■賃金、労働時間、社員との対話

- ・社員一人一人の安全と健康に配慮し、働きやすい職場環境づくりに努めます。

▽最低賃金

最低賃金法に基づいて定められる地域・産業別最低賃金に従い、従業員本人に遅滞なく賃金を支払っています。

▽有給休暇取得促進

有給休暇取得促進のため、年間5日間の計画取得推進に取り組んでいます。

▽労働時間数・会社休日数

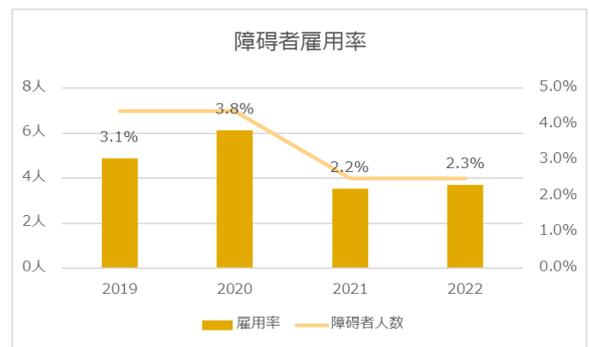
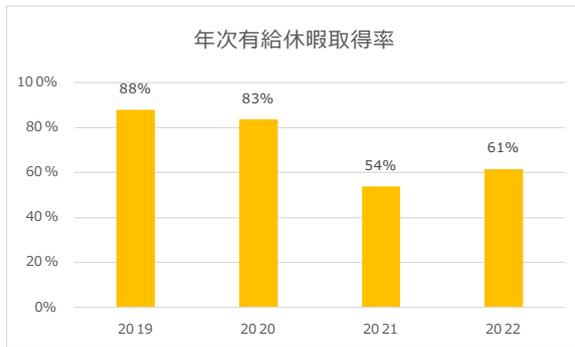
上限労働時間等の法令で定められた労働時間を遵守します。年間休日は125日となっています。

▽定年退職者の再雇用制度

定年退職者の豊富な経験の活用と若手社員への技能継承、退職者が働きがいを持って勤務してもらうことを目的とし、本人が希望した場合は60歳以上の社員は65歳までを限度として再雇用する制度があります。

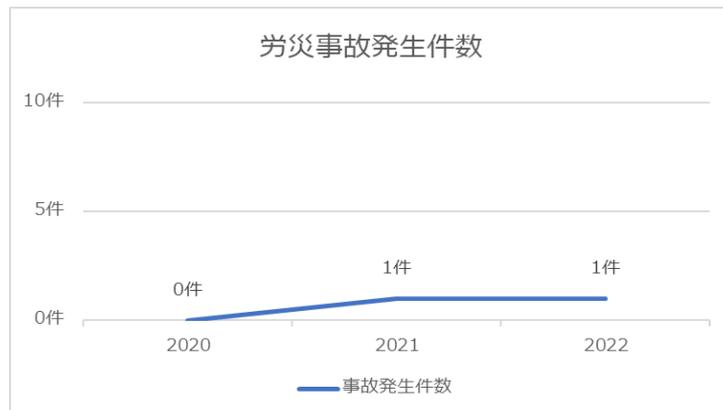
▽対話・労使協議

毎月会社側・組合側との定例協議の場を設け、会社からの情報開示や提案、組合側からの要望や提案など双方で協議する場を設けています。組合員が希望する場合は異動希望を自己申告することができます。



■安全・健康な労働環境、人材育成

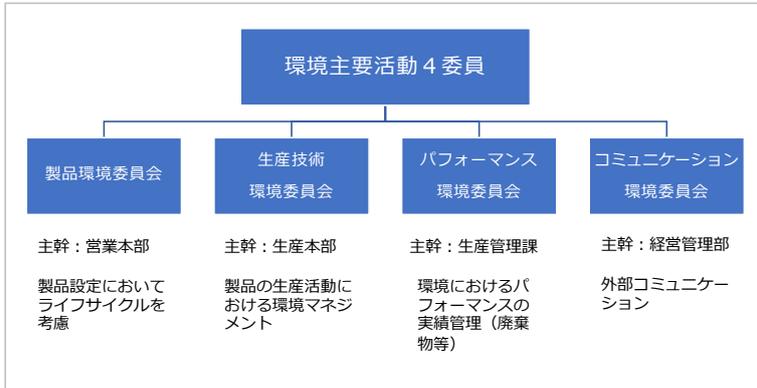
- ・安全を何よりも優先し、職場における災害の防止に努めます。国・地域毎の法令に基づいた安全管理を行い、一人ひとりが主体的・積極的に取り組むことで、安全な職場環境を作ります。安全衛生活動については年間計画に基づき活動しています。



2023年度 労働安全衛生方針	
カシュー株式会社	
1. 基本方針	(1) 労働災害を防止するための安全で継続的な職場の整備を行う (2) 常に労働安全衛生管理体制を確立し、教育に基づいた再構築を行う (3) 労働安全衛生法等、関連した法律・法令・労働基準等を遵守する (4) 直轄の健康保持推進事業、定員が伸び、働きがいを感じることで結果を出す継続管理を実施する (5) 自然災害やウイルス感染症等に対し対応能力の向上に努める (6) 労働安全衛生マネジメントシステムを継続した管理に努める
2. 基本原則	(1) 安全・衛生法をすべてに遵守する (2) 決めたことは守り、守らせる (3) 危ない仕事は絶対にしない、させない (4) 管理監督者が先頭に立ち、実務【ゼロ】実現のための組織【ゼロ】を構築する
3. 目標	組織【ゼロ】、労働災害【ゼロ】、事故【ゼロ】、作業環境評価基準【第1管理区分】
4. 取組の概要	(1) リスクアセスメントの実施と継続的改善 ①全作業工程による自組織の危険性・有害性のリスクアセスメントと改善 ②設備機械及び作業方法、職場環境及び作業条件 ③非常時作業における検査、手順、KY事項の周知 ④設備機械の安全対策対策（転落防止、墜落対策） ⑤職場の安全衛生に關する法令を遵守し、安全で健康な職場環境の構築
	(2) 労働災害防止対策 ①防止の根本となるアース・ボンディングの接続・確認、数本の実行 ②「労働安全衛生訓練標準」の教育と継承
	(3) カシュー（株）で働く人の心と体を守る取組 ①長時間労働の軽減や産業医相談など、メンタルヘルスマネジメントの取組 ②自組織で実施する健康診断の改善【3】と職場環境改善の取組 ③検査やびびりなど、従業員が安心して検査を受けやすくなる取組 ④労働災害発生時の対応方法、消火器具等取組の確認、避難訓練の実施、災害発生時の避難方法の周知
	(4) 化学物質管理対策 ①自組織の化学物質対策の定期的な改善、設備点検と保守の実行 ②法令に基づいた化学物質の危険性・有害性の調査と周知 ③危険物、有害物（有機溶剤、特定化学物質等）の取扱い事項の周知
	(5) 消防の石、豊山の石造機の取組 ①社会消防事業（豊山の石）の取組と自組織の取組 ②社内事故事例（豊山の石）の発生と対策の自組織の取組及び改善 ③従業員への消防と安全教育（ビジュアル教育） ④避難ルート・ロールのヘルプアップ

■環境マネジメント

- 当社では環境に関する基本方針を定めています。また環境マネジメントシステムの国際規格（ISO14001）を認証取得し、環境負荷の低減に関わる課題に積極的に取り組んでいます。



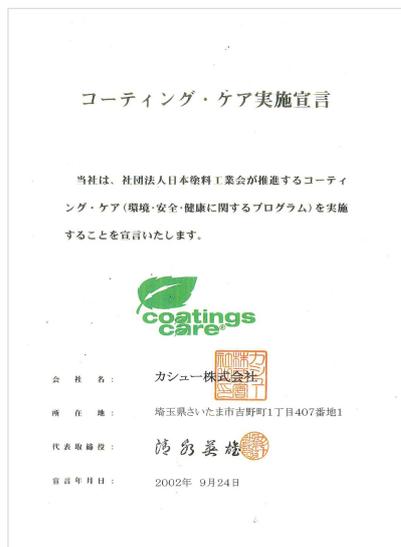
ISO : 14001登録証

76期 環境方針

カシュー株式会社は、環境負荷を低減し持続的社会的の実現に寄与する活動を推進していきます。

1. 企業活動に関わる環境法規制及び組織が同意するその他の規範を順守し、企業に関わる一人ひとりの環境意識の向上に努める。
2. 従業員が安全・安心できる作業環境を整え、業務効率の改善を図る。
3. 環境負荷を定量的に評価し、より環境にやさしい活動をする。
4. 地域社会の環境に配慮し共生と調和を目指す。

- 当社は社団法人日本塗料工業会が推進するコーティング・ケアを2002年9月に宣言し、環境・安全・健康を守る活動を実施しています。



■ 温室効果ガスの排出削減

- 地球温暖化対策として、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。2030年までに2013年度比で50%の削減を目標としています。主な取組内容としては既存電力からクリーン電力への段階的な切替、省エネ設備の導入推進、燃料油の切替の実施等に取り組んでいます。



■ 2013年度実績 : 5,411 t ■ 2022年度実績 : 4,674 t ■ 2030年目標 : 2,700 t

■ 大気・水等の環境汚染防止

- 大気汚染防止  
ボイラーの適正運転を進め、継続的に有害物質排出量の監視を行うとともに排出の削減に努めます。
- 水質汚染防止  
排水処理の継続的監視を行い、法規制値を遵守することで水質汚染防止に注力しています。処理設備の適正運転を進めることで引き続き環境負荷低減に努めます。

■ 省資源・廃棄物削減

- 省資源・廃棄物削減のため、2030年までに2013年度比で産業廃棄物量50%削減すること、廃棄物のリサイクル率100%を維持することを目標としています。主な取組内容として3Rを基本とし、処分方法見直し、社内でのリユース、リサイクルの促進を努めています。



■ 2013年度実績 : 318 t ■ 2022年度実績 : 268 t ■ 2030年目標 : 159 t

- 法令順守と適切な情報開示により、化学品を開発・製造・販売する企業としての社会的責務を果たしますため、化学物質管理方針を定め各種法令順守に取り組んでいます。

### 76期製品含有化学物質管理方針

カシュー株式会社は、サプライチェーンを俯瞰し、法令順守と適切な情報開示により、化学品を開発・製造・販売する企業としての社会的責任を果たします。

#### 1. 環境保全

開発・調達・製造・販売・使用・廃棄において法令と社内ルールを遵守し、顧客要求に沿った環境負荷低減活動を行います。

#### 2. 製品安全

取り扱う化学物質の危険性・有害性・環境影響を把握し、お客様へ速やかな情報・安全な製品を提供すると共に、積極的な環境負荷低減提案を行います。

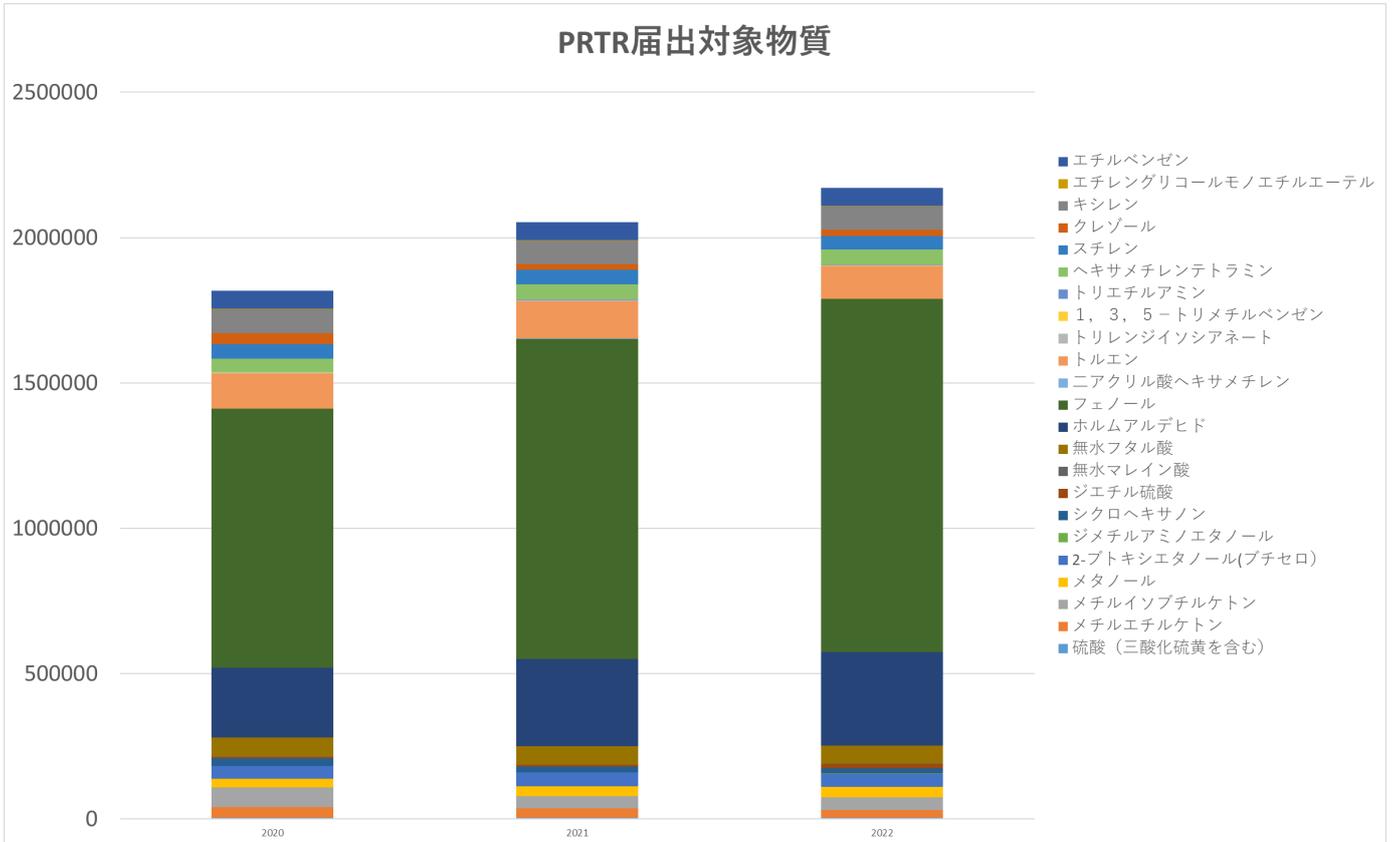
#### 3. 保安防災・労働安全

化学物質を取り扱うにあたってのリスクアセスメント実施と正確な安全情報の提供により、重大災害・重大事故の発生防止につなげます。

#### 4. 教育・啓発

化学物質管理への理解と意識向上のため、全従業員に啓発的教育活動を実施します。

リスクアセスメント実施レポート				
タイトル				
実施担当	技術開発1課			
作業場所	生産3課(予定)			
作業内容	混合			
労働者数	10人未満			
化学物質形態	粉体			
化学物質名				
リスクレベル	有害性ランク	飛散性ランク	取扱量ランク	化学物質名
2, S	A, S	大	中量	非結晶二酸化ケイ素
リスク低減対策		実施すべき事項		
2	工学的対策の実施 1) 局所排気装置等の設置と維持管理 2) 可能な限りの密閉化 など			
S	皮膚や眼に対する保護具の使用 など			
作業名	シート表題	管理対策シート No.		
一般原則	局所排気装置	200		
一般原則	密閉ケース	202		
混合	液体同士又は液体と粉体の混合	212		
一般原則	ファンデュブル有機気装置	202a		
一般原則	皮膚や眼に有害な化学物質に対する労働衛生保護具	SK100		
一般原則	呼吸用保護具の選び方と使い方	R100		



## コンプライアンス

### ■法令の遵守

- 全社的経営方針・体制を社員全員で共有します。コンプライアンスに適切に取り組むためガイドライン行動規範を定め、コンプライアンス違反の通報、相談の為に内部通報受付窓口（予定）を設置します。
- 社員のコンプライアンスの理解度を深めるため定期的な勉強会を実施します。

### ■競争法の遵守

- 取引における私的独占、不当な取引制限（カルテル、入札談合）等不公正な取引はチェック表による確認を行います。
- 中小仕入先、下請加工業者に対しての優越的地位の濫用防止のためのガイドラインの作成とチェック表による確認を行います。
- 他国で事業を行っている当社グループに属する会社およびHD会社は、他国の競争法も理解し遵守します。

### ■腐敗防止

- 反贈賄基本方針（案）に基づき、政治献金・寄付・公務員への対応は法令に基づき実施し、政治行政とは正常な関係に努めます。
- 取引先・仕入先からの不当な利益、優遇措置の取得・維持を目的に、接待・贈答・金銭授受供与は禁止し・届け出によるチェックを実施します。

### ■機密情報の管理・保護

- お客様、第三者、自社工員の個人情報や機密情報は正当な方法で入手するとともに厳重に管理し、適切に利用し保護されます。
- システム的な防衛対策を強化し保護強化を図ります。
- 定期的な勉強会の実施により各人の知識レベルの向上をはかります。

### ■輸出取引管理

- 原材料メーカーや各国既存化学物質リストからの化学物質情報を、収集・管理いたします。
- これらの情報に基づき、当社製品の輸出を各国法令に抵触しないよう適切に管理いたします。

### ■知的財産の保護

- 自社のもつ知的財産権のうち特許権については、職務発明規定により管理を行い 他商標権・意匠権・実用新案権については所管部にて統一管理します。
- 他社知的財産権侵害防止確認については事業化前に特許庁情報から既存特許等の確認実施を行い対応します。

## 情報開示

### ステークホルダーへの情報の開示

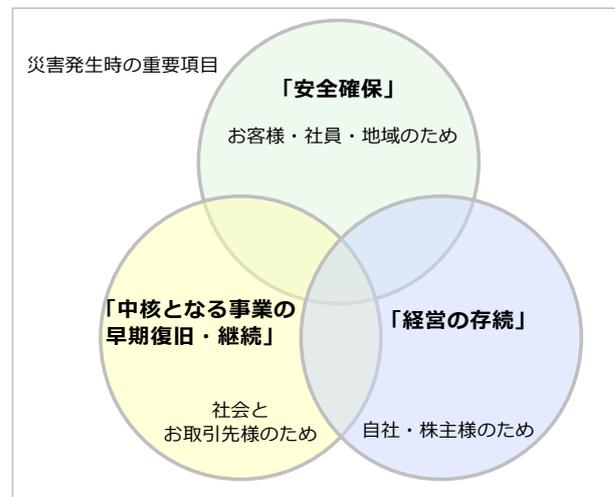
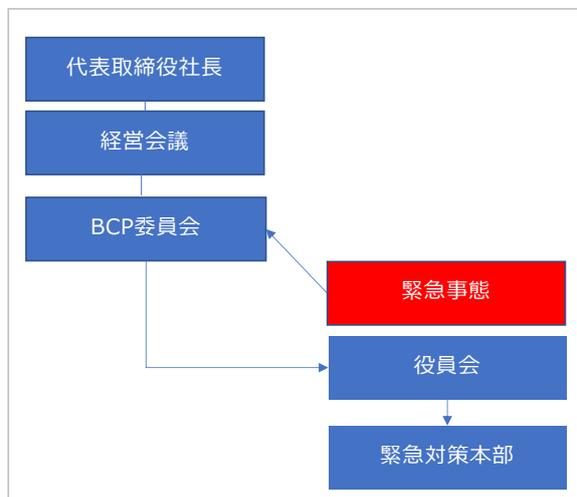
- 財務状況・業績、事業活動の内容などの情報をステークホルダーの皆様に適宜・適切に開示するとともに、オープンで公正なコミュニケーションを通じて相互理解、信頼の維持・発展に努めてまいります。
- IR（財務）に関しては当社WEBサイトに掲載し公表しております。
- CSRレポートを発刊し、ステークホルダーの皆様へ情報開示をいたします。

## リスクマネジメント

### リスク管理の仕組み

- 当社の事業行動に関するリスクを分析し、全社的な管理の仕組みを構築・運用しています。

リスク管理体制



## 社会貢献

### 地域（コミュニティ）への貢献

- 本社大宮工場周辺の清掃活動を毎月実施しています。さらに、地域イベント（夏祭り・盆踊り）への協賛等、地域社会とのコミュニケーションを推進しています。
- さいたま市内の子どもたちの登下校時の安全確保を目的とし、身の危険を感じたときなどの緊急時に、安心して助けを求め、駆け込める場所として、「子どもひなん所110番の家」プレートを外から見やすい位置に掲げ活動に協力しています。



### ■ 自社内におけるCSR活動の仕組み・展開

- ・ 今後CSRレポートで社内におけるCSR教育やCSR活動について開示いたします。

### ■ 自社からお取引先、仕入先に対するCSR活動の仕組み・展開

- ・ 当社は紛争鉱物を使用しない方針であり、サプライチェーンの透明性を図ると共に、責任ある鉱物調達への推進に取り組んでいます。
- ・ 私たちのCSR活動がすべての取引先に理解され、共に発展出来ることを目指すため、セルフチェックシートを用いたアンケート調査の実施により、推進状況を確認しております。

## 調達方針

カシュー株式会社は、お取引先との共存共栄と持続可能な社会を目指し、以下の基本方針を実践いたします。

### 基本方針

1. 公平、公正、平等  
お取引先に公平かつ公正な姿勢で臨みます。  
また、自由競争を基本とし、採用機会の平等性に努めます。
2. 相互信頼  
お取引先と相互信頼を構築するべく行動いたします。
3. コンプライアンス  
各種の法令・社会規範等を遵守し、環境や安全衛生に配慮した購買活動を実践します。
4. 社会的責任  
企業の社会的責任を果たすため、CSRの取り組みをお取引先と相互に行います。

### 自社におけるCSRの取組項目

	安全・品質
	人権・労働
	環境
	コンプライアンス
	情報開示
	リスクマネジメント
	社会貢献
	取引先

### ■ 自社からお取引先に対するCSR活動の仕組み・展開

- ・ お取引様との勉強会の模様



**Cashew**  
*Coating & Friction materials*

[www.cashew.co.jp](http://www.cashew.co.jp)